

「ウレシヤス小松」（小松駅東地区複合ビル）の開業について

2025 年 10 月 23 日
北陸電力株式会社
北電産業小松ビル合同会社

北陸電力株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：松田光司）および北電産業小松ビル合同会社（職務執行者社長：奥出和生）が小松駅東地区において建設を進めてまいりました「ウレシヤス小松」（小松駅東地区複合ビル）について、本日開業いたしましたので、お知らせいたします。

本ビルは、老朽化に伴い建替えが必要となった当社グループの事業所の集約に合わせて、電力レジリエンスの強化や地域の賑わい創出を目的とし、小松市と当社グループが官民一体となって開発計画を進めてまいりました。2023 年 9 月に着工し、地元の皆さま、工事関係者の皆さまのご協力を賜りながら工事を進め、本日、開業の日を迎えることができました。

本ビルの名称である「ウレシヤス」は、小松弁で嬉しい感情を表現する「うれっしゃ」と、英語で「愛おしい」を意味する「precious（プレシヤス）」を組み合わせた造語で、訪れた人に喜びを感じていただける環境を提供し、多くの方々に本ビルを永く親しみ愛していただきたいという想いが込められています。

「ウレシヤス小松」が、小松駅周辺の新たなランドマークとして、皆さまから末永く親しまれ、地域の賑わいを育む拠点となり、南加賀地域をはじめ石川県や北陸全体の発展に貢献できるよう、今後の運営に取り組んでまいります。

〈本ビルの特徴〉

■外観

本ビルの外観は、北前船をモチーフにしています。これは、小松が北前船による交易で発展してきた歴史にあやかり、本ビルが全国から人や情報、サービスが集まり、そして発信する交流の拠点となることを願っているものです。

■南加賀最大級の多目的ホール

ビル2階の「こまつ北電ホール」（愛称：こまだん）の名称は、当地の小松を柔らかくひらがなで表記し、当社グループのホールで地域を活性化させたいという思いが込められています。

最大 870 名が収容可能であり、可動式間仕切りで分割が可能です。最新設備と上質な空間・サービスで、宴会、会議やイベントなど様々なニーズに対応しています。

■地域の素材を積極的に活用

エントランスの壁面には、小松産の石材である「観音下石（かながそいし）」、「滝ヶ原石（たきがはらいし）」、「大杉石（おおすぎいし）」を、ビル低層階には広範囲にわたり小松産の木材である「日用杉（ひようすぎ）」、「加賀杉」をそれぞれ使用しています。

■環境に配慮した省エネビル

小松の豊富な井水を活用した冷暖房、南北に吹き抜ける卓越風を取込んだ自然換気、自然光の照度検知や在室検知による照明制御等のサステナブル性能に加え、50%以上の省エネを達成して国が定める環境性能「ZEB Ready」を取得しています。

■地域と一体となったビル活用の体制

2022 年 9 月に発足した地域関係者で構成される「小松駅東地区複合ビル利活用促進協議会」（2024 年 4 月に一般社団法人化）から、地域一体となったビルの持続的な運用のご提案を受け、当社と一緒に地域の永続的な賑わい創出に取り組んでいます。

協議会では、賑わい創出を通じた地域貢献にご賛同いただける賛助会の会員を募集しております。

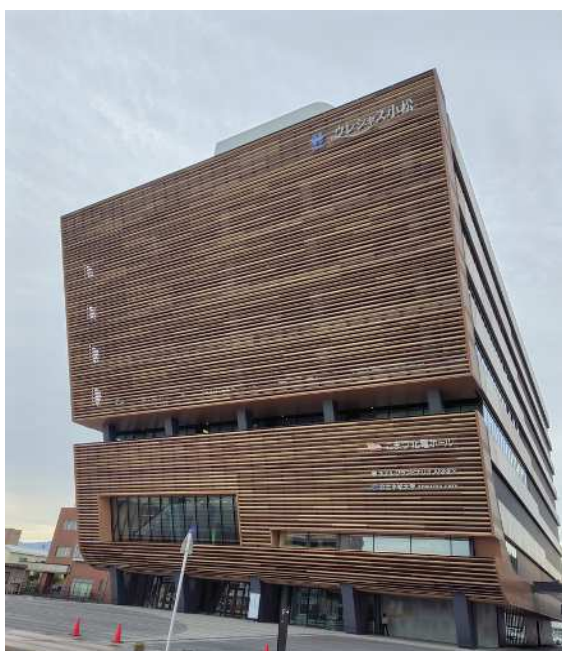
〔賛助会の会員申込・ホールご案内は以下 QR コード 又は URL よりお願いします〕



URL : <http://www.komadenhall.jp>

＜ウレシヤス小松の概要＞

所在地	石川県小松市日の出町 1 丁目 100 番 (小松駅から徒歩 1 分)
敷地面積	5,280 m ²
延床面積	17,470 m ² (鉄骨造・耐震構造) 地上 10 階

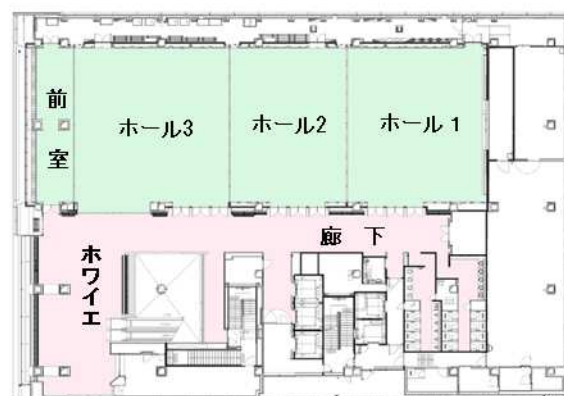


北前船をモチーフにした外観

10 階	ホテル ランビナリオ KOMATSU ANNEX
9 階	(65 室)
8 階	北陸電力グループオフィス
7 階	
6 階	
5 階	小松市オフィステナント (最大 10 区画)
4 階	公立小松大学 中央第 2 キャンパス
2 階	こまつ北電ホール
1 階	エントランス、商業施設

※3 階は電気室・倉庫

＜こまつ北電ホールの概要＞



南加賀最大級（最大収容人数 870 人）の多目的ホール

- ・可動式間仕切りで 3 分割可能
- ・小人数の宴会からプライベートパーティー、大規模なビジネスミーティングまで、上質な空間で様々なシーンに対応